

2026年度 3回目 今回のテーマは、

「導電性高分子からグラフェン・CNTへ ～材料イノベーションをつないだ「 π 電子」の世界～」

京都大学/日東電工での導電性高分子研究および新製品開発に従事し、弊社資料集「全固体電池のポテンシャルと競合技術に関する将来展望(2023年)」の執筆者でもある大谷彰氏にご講演いただきます。

また、弊社からは次世代の導電材としていよいよ展開が期待されるグラフェン・CNTの状況をご紹介します。

開催日時: 2026年11月6日(金) 10:30AM～12:00AM

基調講演	10:30～11:30 (Q&A含む) KTR顧問 大谷 彰 氏 「導電性高分子の創出からリチウムイオン二次電池への学術的・産業的展開 ～白川英樹博士の先駆的業績と知の連鎖～」
内容	2000年にノーベル化学賞を受賞された白川英樹博士を追悼し、先生が切り拓いた導電性高分子とドーピング技術を起点に、「電気を流すプラスチック」の発見が吉野彰博士(ノーベル化学賞受賞 2019年)のリチウムイオン二次電池の誕生・発展へどのようにつながったのかを辿ります。 さらに、 π 電子共役系材料の視点から、グラフェン、CNTへと広がる材料技術の系譜とポリアニリン・グラフェン複合体を用いた新型二次電池など、最新の展開まで紹介します。
KTR講演	11:30～12:00 (Q&A含む) KTR代表取締役 川崎 徹 「グラフェン、カーボンナノチューブに関する気になる用途動向」
内容	弊社は昨年3月に「グラフェンとカーボンナノチューブの世界動向と用途展望」という資料集を刊行しました。 その後も、これら高付加価値の新炭素材料の行方を追いかけております。 本セミナーでは、この資料集のねらいと気になるアプリケーションの一端をご紹介します。

開催形式: Zoomによるオンライン開催

(先着100名様締切/定員に達し次第、締め切らせていただきます)

参加費用: KTRコンサルティング会員様: 無 料 ※ 1社につき3名様までとさせていただきます

一 般 (非会員) : 3,300円(税込)/1名様

お申し込み:

>> [20261106_KTR注目セミナー申し込みフォーム](#)



申込フォーム
QRコード

ご質問やご不明点などがございましたら、お気軽にお問い合わせください。

有限会社カワサキテクノロジー: ktr@kawasaki-tr.com